



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2601S		
科目名	基礎ゼミ		
担当教員	田 昌禾		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 3		
講義室	1208	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-H[論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F[探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K[表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (CR) との関連 E1学識と専門技能 40% H1論理的思考 10% H2批判的思考 10% F1探求と論拠 10% I1理解・分析と読解 10% K1ライティング・コミュニケーション 10% K2オーラル・コミュニケーション 10%		
教員の実務経験	ソウル大学社会発展研究所客員研究員、韓国KBS放送局東京通信員リポーター、韓国EBSラジオ放送局東京通信員、韓国コンテンツ振興院日本ビジネスセンター諮問委員などこれらの実務経験で得られた知見や経験を活かしながら、本講義を展開していきます。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	■科目概要 危機管理に関する様々な研究領域の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するために必要なスキルと知識を統合的に学ぶために、危機管理に関する基礎的な演習を行います。危機管理学の専門基幹科目における法学系科目、又は、専門展開科目における災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ若しくは情報セキュリティに属する危機管理系科目を担当する教員が「個別クラス」を担当し、教員の研究領域の特性に即して研究手法等を指導します。ここでの学びが、3年次以降のゼミナールでのより専門的な研究活動への橋渡しの意味をもちます。本科目では、研究のテーマ決定や研究計画の検討からはじめて、その解決に向けた研究計画の立案、個人、または集団的な研究を進め、その成果をプレゼンテーションによって表現することまでを一通り行うことを目標にします。		

	授業形態は(講義・実技・実習・演習)形式により行います。なお、対応するコンピデンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 危機管理、ディスカッション、プレゼンテーション、研究テーマの構築、ゼミナールへの橋渡し						
授業の趣旨	■副題 危機管理上の持続可能な観光のための諸課題を考察する ■授業の目的 危機管理上の持続可能な観光のための諸課題を考察し、レジュメの作り方、パワーポイントでの発表の仕方、レポート作成など社会学研究法から基礎的なスキルを修得します。 ■授業のポイント この授業では、テキスト読解、レジュメ作成、プレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成の各過程を通じて、①探求力・課題解決力、②学識・専門技能、③論理的思考力・批判的思考力、④理解力・分析力、⑤表現力・対話力の各コンピデンスの開発を行います。また、危機管理上の持続可能な観光のための諸課題を考察するなかで、⑥自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢、⑦倫理観と公共心、⑧省察力の各観点について自覚をもつことも求められます。						
総合到達目標	■一般目標（GIO） 危機管理上の持続可能な観光のための諸課題について考察し、その要点をレジュメとしてまとめ、その研究成果を人に伝えることができる。 ■個別行動目標（SBOs） ・テキストを読解し、その要点をレジュメとしてまとめることができる。（第2回～第15回） ・自らの考えを文章で表現し、プレゼンすることができる。（第2回～第15回） ・他の学生とコミュニケーションをとることができる。（第1回～第15回） ・危機管理上の持続可能な観光のための諸課題について分析・考察することができる（第2回～第15回）						
成績評価方法	■授業参加度 15回（40%）：適用ルーブリック（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）（評価の観点）グループディスカッションにおける参加度や貢献度などを評価します。（フィードバックの方法）授業時間内に全体あるいは個別にフィードバックします。 ■プレゼンテーション 2回（30%）：適用ルーブリック（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）（評価の観点）レジュメの内容、プレゼンテーションのスキルなどを中心に評価します。（フィードバックの方法）授業時間内に全体あるいは個別にフィードバックします。 ■レポート1回（30%）：適用ルーブリック（E1、F1、H1、H2、I1、K1）（評価の観点）論理構成と書き方が適切かを評価します。（フィードバック方法）授業内で個別にフィードバックします。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	特にありません。						
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス（授業概要、授業の進め方、成績評価の説明など） ②授業概要 授業概要、授業の進め方、成績評価の方法について説明を行います（E1）。また、自己紹介を通してコミュニケーション力を修得する（K2）。 ③予習（60分） シラバスを事前に確認する。 ④復習（60分） 本日の説明内容について復習し、今後の授業の流れについて確認する。 </td></tr><tr><td>2</td><td> ①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の基礎ゼミで展開される研究の意義や、その領域について確認し、危機管理と社会学に関する研究領域やその研究方法について学習する（E1、H1、I1）。 ③予習（60分） 関心のあるテーマに関する有用な資料を検討し整理しておくこと。 ④復習（60分） 文献の研究手法や結果について、研究テーマに即したものかを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。 </td></tr></table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス（授業概要、授業の進め方、成績評価の説明など） ②授業概要 授業概要、授業の進め方、成績評価の方法について説明を行います（E1）。また、自己紹介を通してコミュニケーション力を修得する（K2）。 ③予習（60分） シラバスを事前に確認する。 ④復習（60分） 本日の説明内容について復習し、今後の授業の流れについて確認する。	2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の基礎ゼミで展開される研究の意義や、その領域について確認し、危機管理と社会学に関する研究領域やその研究方法について学習する（E1、H1、I1）。 ③予習（60分） 関心のあるテーマに関する有用な資料を検討し整理しておくこと。 ④復習（60分） 文献の研究手法や結果について、研究テーマに即したものかを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス（授業概要、授業の進め方、成績評価の説明など） ②授業概要 授業概要、授業の進め方、成績評価の方法について説明を行います（E1）。また、自己紹介を通してコミュニケーション力を修得する（K2）。 ③予習（60分） シラバスを事前に確認する。 ④復習（60分） 本日の説明内容について復習し、今後の授業の流れについて確認する。						
2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の基礎ゼミで展開される研究の意義や、その領域について確認し、危機管理と社会学に関する研究領域やその研究方法について学習する（E1、H1、I1）。 ③予習（60分） 関心のあるテーマに関する有用な資料を検討し整理しておくこと。 ④復習（60分） 文献の研究手法や結果について、研究テーマに即したものかを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。						

3	①授業テーマ 個人研究計画の検討（1） ②授業概要 関心のあるテーマに関する文献を徹底的に調査・分析し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 関心のあるテーマに関する有用な資料を検討し整理しておくこと。 ④復習（60分） 文献の研究方法や結果について、研究テーマに即したものかを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
4	①授業テーマ 個人研究計画の検討（2） ②授業概要 関心のあるテーマに関する文献を徹底的に調査・分析し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 関心のあるテーマに関する有用な資料を検討し整理しておくこと。 ④復習（60分） 文献の研究方法や結果について、研究テーマに即したものかを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
5	①授業テーマ 研究計画作成及び発表準備（1） ②授業概要 文献研究を踏まえて自身の研究計画に関する徹底的に調査・分析し、その研究方法について整理し、研究計画作成及びその発表に向けた準備を行う（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 文献研究で整理された情報を自身の研究計画に当てはめ、その計画に対して必要な研究方法の選定を行っておく。 ④復習（60分） 自身の研究計画の作成に必要な研究方法に必要な情報を収集しておく。
6	①授業テーマ 研究計画作成及び発表準備（2） ②授業概要 文献研究を踏まえて自身の研究計画に関する徹底的に調査・分析し、その研究方法について整理し、研究計画作成及びその発表に向けた準備を行う（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 文献研究で整理された情報を自身の研究計画に当てはめ、その計画に対して必要な研究方法の選定を行っておく。 ④復習（60分） 自身の研究計画の作成に必要な研究方法に必要な情報を再度収集しておく。
7	①授業テーマ 個人研究の発表とディスカッション（1） ②授業概要 個人研究の発表を行ったうえで、ディスカッションを行う（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 発表者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 発表内容や質疑応答から得られた他者の考え方や捉え方の違いなど知識を振り返り、各自で考察をさらに深める。
8	①授業テーマ 個人研究の発表とディスカッション（2） ②授業概要 個人研究の発表を行ったうえで、ディスカッションを行う（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 発表者はレジュメ作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分）

	発表内容や質疑応答から得られた他者の考え方や捉え方の違いなど知識を振り返り、各自で考察をさらに深める。
9	①授業テーマ グループの研究計画作成及び発表準備（1） ②授業概要 グループの研究計画の作成及びその発表に向けた準備を行う（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） グループの研究発表に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（60分） グループで選んだ文献の研究手法や結果について、グループの研究発表に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
10	①授業テーマ グループの研究計画作成及び発表準備（2） ②授業概要 グループの研究計画の作成及びその発表に向けた準備を行う（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） グループの研究発表に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（60分） グループで選んだ文献の研究手法や結果について、グループの研究発表に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
11	①授業テーマ グループの研究発表とディスカッション（1） ②授業概要 グループで研究発表を行ったうえで、ディスカッションを行う（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 各グループはレジюме作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 発表内容や質疑応答から得られた他者の考え方や捉え方の違いなど知識を振り返り、各グループで考察をさらに深める。
12	①授業テーマ グループの研究発表とディスカッション（2） ②授業概要 グループで研究発表を行ったうえで、ディスカッションを行う（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 各グループはレジюме作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 発表内容や質疑応答から得られた他者の考え方や捉え方の違いなど知識を振り返り、各グループで考察をさらに深める。
13	①授業テーマ グループの研究発表とディスカッション（3） ②授業概要 グループで研究発表を行ったうえで、ディスカッションを行う（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 各グループはレジюме作成・発表準備等を行う。 ④復習（60分） 発表内容や質疑応答から得られた他者の考え方や捉え方の違いなど知識を振り返り、各グループで考察をさらに深める。
14	①授業テーマ 総括と授業内レポート ②授業概要 これまでに学習したことを整理し全体的な総括を行うとともに、授業内レポートを実施する（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） 発表内容や質疑応答から得られた他者の考え方や捉え方の違いなど知識を振り返り、整理しておく。 ④復習（60分） 授業内レポートへの記述内容について考察しておく。

	15	①授業テーマ 基礎ゼミのまとめ ②授業概要 基礎ゼミで行われた授業内容を振り返り、これまでの学習から得られた知識について整理し、基礎演習のまとめを行うとともに、授業内レポートの解説を実施する（E1、F1、H1、H2、I1、K1、K2）。 ③予習（60分） これまでの学習内容を振り返り、整理しておく。 ④復習（60分） 授業での指摘や受講者同士の議論を踏まえて、ゼミナールや特殊研究に向けた自分の課題を書き出す。
関連科目		「自主創造の基礎」（RMGT 1218）、「アカデミック・スキルズ」（RMGT1219）、「基礎ゼミ」（RMGT2601S）
教科書		なし
参考書・参考URL		各回の授業中に適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー		■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 時間外にアポイントメントを希望する方は、メールで事前に連絡をしてください。
研究比率		■危機管理領域との対応 災害マネジメント10％：パブリックセキュリティ10％：グローバルセキュリティ60％：情報セキュリティ20％ ■危機管理学と法学とのバランス 法学10％：危機管理学90％

